

令和7年度 第1回 地域連携推進会議・施設見学 議事録

<日 時> 令和7年11月26日(水) 9:30～11:10

<場 所> 障害者支援施設 年輪の園
機能訓練室内

<出席者> 地域関係者 N氏 理事長・管理者 藤掛
地域関係者 O氏 サービス管理責任者 成清
利 用 者 E氏 サービス管理責任者 小宮
利用者家族 I氏 事務局 三宅
福祉知見者 G氏 (職員計4名)
経営知見者 M氏
(推進委員計6名)

1、開会・挨拶

藤掛理事長より

開会の挨拶があり、地域連携推進会議についての趣旨と重要性について説明。

2、出席者の確認

全推進委員の出席を確認。

3、議長について

当施設地域連携推進会議規程第5条2項に基づき、藤掛忠教理事長が議長となる。

4、書記について

当施設地域連携推進会議規程第8条に基づき、事務局が書記にあたる。

作成者



第1号議題 地域連携推進委員自己紹介

推進委員全員と出席職員がそれぞれ自己紹介を行う。

第2号議題 サービスの透明性・質の確保に関する事項

三宅事務局より①～④まで委員に向けて説明。

① 実施している障害福祉サービスの概要について

(就労継続B型) ・一般企業で働くのが難しい人に作業の機会を提供するサービス。

- ・毎月工賃が発生するもの。

- ・体調や障害特性に合わせて自分のペースで働くことができる。

(生活介護) ・介護が必要な方や、働くことが難しい方が利用する日中活動のサービス

- ・身体介護、創作、レクリエーション、リハビリ的活動などを提供。

- ・医療的ケアが必要な方を受け入れる事業所もある。

(施設入所支援) ・夜間・休日を含む24時間の生活支援を受けるサービス

- ・生活リズムの安定、日常生活の自立、健康管理などを支援する。

(短期入所・空床型) ・家族の介護負担の軽減、冠婚葬祭、急な用事、体調不良等の時に利用できるショートステイ。

- ・入所支援の空いている居室を使って提供する。

- ・入所支援と同じ内容の生活支援が受けられる。

P5の令和6年度工賃実績報告様式の控えについて説明を行う。

年間工賃支払総額は3,082,430円、利用者延人数4,886人、年間開所日数260日、

1日平均利用者数18.8人、平均工賃月額13,663円という結果を報告する。

P6、P7の月間行事カレンダー、機能訓練室カレンダーについて説明を行う。

毎週月曜日にイオンネットスーパーの注文を締め切り、金曜日に利用者さんへ手渡し。

毎週金曜日に2F、3F、女性棟のシーツ交換。

毎月20日に前月分の作業工賃を配布。

機能訓練室(学習室)では基本的に自由時間として開放。パズル、文字の練習、計算の練習、映画鑑賞、カラオケなどを行っている。

② レクリエーション内容

P8～令和7年度レクリエーション実績を資料に沿って報告する。

6月12日、7月3日にみずほPayPayドームにてプロ野球観戦引率。

8月28日に初の試みとして運動会を開催(本作業場を使用)。

9月5日、6日二日間かけて博多座にて前川清コンサートを鑑賞。

10月30日に駐車場を利用してバーベキュー大会を実施。

11月6日に熊本阿蘇方面日帰り旅行、11月14日と20日に佐世保方面日帰り旅行を実施。

後半は新年会などを予定している。

③ BCP(事業継続計画)に関する取り組み状況

P11～BCP事業継続計画(自然災害編と感染症編)についての内容と重要性について説

明を行う。また、BCP委員会とBCP研修についての実績も併せて資料に沿って報告する。

④ 感染症対策に関する取り組み状況

P21～感染症対策に関する委員会及び研修についての実績を資料に沿って報告する。

＜第2号議題でのご意見・ご質問＞

小宮サビ管 日帰り旅行は大相撲九州場所を検討していたが、今回はチケット手配が難しく、次年度以降に再度企画をしたいと思う。

I 委員 昨日夕方地震があった。特に被害が無く良かった。

小宮サビ管 (BCPに関しての補足) 策定内容、研修内容について他の施設を参考にしたり訓練を重ねて問題がないかチェックし、さらにブラッシュアップしていきたいと思う。

成清サビ管 昨今ではB型事業所が増加傾向にある。当施設より高い工賃を支払っている事業所も多い。高齢化や重度化が進む中、お請けできる作業は限られてしまうが、できるだけ高い工賃を支払うことができるようにしっかりと努めていきたい。

I 委員 利用者の家族としては長年お世話になっていて感謝しかない。自宅では楽しめないようなことを園のレクリエーションなどで楽しんでいるようだ。毎日通える施設が無くなってしまうと本人の生活はどうなるか分からない。

第3号議題 利用者の権利擁護に関する事項

① 虐待防止・身体拘束廃止に関する取り組み状況

P24～虐待防止委員会・身体拘束適正化検討委員会の実施と研修の実績を資料に沿って報告する。

第4号議題 地域との連携について

① 利用者の地域移行に関する意向調査について

P26地域移行に関する意向調査結果報告。

回答者数60名（年輪の園が良い35名、他の入所施設に移りたい5名、自宅やグループホームで生活したい17名、分からない3名）。59%が年輪の園が良いとの結果。

② 欠塚行政区との連携について

N氏より欠塚行政区予定表を基に今後の行事についてご説明いただく。

N 委員 行政区の方で決定した内容に沿って公民館等を使用して実施している。年間の行事のほかに毎月2回デイサービスも行っている。また、一昨年からこども食堂を公民館で行うようになった。春休み、夏休み、冬休みの

時期の平日にそれぞれ一回ずつ行っている。ぜひ、ご参加いただきたい。

<第4号議題でのご意見・ご質問>

I 委員 本人の生活について、自分たち両親が元気なうちは良いがいつまでもそれが続くわけではない。それが不安だ。

成清サビ管 親亡き後の不安を持つ方は沢山存在している。遠慮なく園へご相談いただければと思う。

E 委員 (地域移行の意向調査回答について) 自分もこのままで良いと回答した。

I 委員 通所の方は今は何名利用しているか。普段はどんな生活をしておられるのか。

成清サビ管 7名ご利用中。若年層から高年層まで幅広く利用していただいている。最近2名新たに利用契約を締結をした。やはり、親亡き後を考えると後々は入所利用へと移行されるのではないかとと思われる。

E 委員 兄も障害者。地区の人たちと将棋をするため徳久公民館へ出かけているようだ。自分は将棋はできないが。今やりたいのは競馬かな。

G 委員 徳久公民館では囲碁と将棋が以前までよく行われていた。参加者が減ってしまったという話もある。交流のため参加されるのはとても良いことだと思う。

I 委員 そういう楽しみがあるのは良いことだと思う。

第5号議題 その他

議長がその他全体を通しての意見や質問を求めたが、新たな発言はない。

10:30で全議題を終了し、推進委員による施設内見学を行った。

【推進委員による施設見学】

10：30～作業場A、B、C及び居室棟をご覧ください。

見学中の主なご質問やご意見は下記の通り。

M氏 栗の皮むき作業は今の時期（秋）だけとのことなので一年通してコンスタントに作業を請け負えると良いが。

N氏 利用者さんたちはみなさん手先が器用で、ものすごく能力があると思う。

I氏 久留米絣に関する作業は、筑後地方ならではの伝統に触れるものであり、利用者さんたちにとって非常に良い体験になっていると思う。

I氏 防犯カメラは防犯のためだけではなく、施設内の安全確保にも繋がっていてとても良いと思う。

I氏 息子の作業を頑張る姿が見れて良かった。

以 上